

The 52nd JAIF ANNUAL CONFERENCE

第 52 回 原産年次大会 2019

2019年4月9日(火)・10日(水) 東京国際フォーラム (ホールB7)

基調テーマ「原子力のポテンシャルを最大限に引き出すには」

4.9 火 9:30 より受付開始

4.10 水 9:30 より受付開始

*全セッション日英同時通訳

10:00	開会セッション 10:00-12:00
	<p>所信・挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今井 敬……………(一社)日本原子力産業協会会長 ●滝波 宏文……………経済産業大臣政務官 <p>特別講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナジャト・モクタル……………IAEA 事務次長 (原子力科学・応用局担当) ●マイケル・シェレンバーガー…エンパイロメンタル・プロGRESS代表 ●本郷 和人……………東京大学史料編纂所教授
12:00	リーダー・パースペクティブ 12:00-12:30
	<ul style="list-style-type: none"> ●フィリップ・クノル……………仏オラノ社 CEO <p>休憩 (12:30-14:00)</p>
14:00	セッション1 14:00-17:00
	<p>「低炭素電源としての原子力の役割」</p> <p>パネル討論</p> <p>[モデレーター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山地 憲治……………(公財)地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長 <p>[基調講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テルマ・クルーグ……………気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 副議長 <p>[パネリスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テルマ・クルーグ (同上) ●イヴ・デバゼイユ……………FORATOM 事務局長 ●高村 ゆかり……………東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 ●小宮山 涼……………東京大学大学院工学系研究科 原子力国際専攻 兼担 工学部システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース 准教授
17:00	
17:00	レセプション 17:00-19:00 (ホールB5)
	<p>サイドイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アトラクション (和太鼓演奏 17:00-17:15) ○会員企業・組織による展示 ○福島物産展
19:00	

10:00	福島第一原子力発電所の報告 10:00-10:30
	<p>「福島第一原子力発電所の現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小野 明…東京電力ホールディングス(株)常務執行役 福島第一廃炉推進カンパニー・プレジデント 兼 廃炉・汚染水対策最高責任者
10:30	リーダー・パースペクティブ 10:30-11:00
	<ul style="list-style-type: none"> ●マッシモ・ガリーバ…欧州委員会 (EC) エネルギー総局 原子力・安全・ITER 局長
11:00	セッション2 11:00-13:00
	<p>「革新的技術の開発展望」</p> <p>パネル討論</p> <p>[モデレーター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アンリ・パイレル…OECD/NEA 原子力技術開発・経済部門副部長 <p>[パネリスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マリリン・クレイ…米国原子力学会 (ANS) 副会長/次期会長 エクセロン・ジェネレーション社 副社長 (戦略・開発担当) ●ガレス・ヘドック……………英国国立原子力研究所 (NNL) 科学技術部長 ●ピョートル・ゼレノフ…ロスアトム JSC サイエンス・イノベーション社国際コミュニケーション・ビジネス開発部長 ●松野 大輔…経済産業省 資源エネルギー庁 原子力政策課長 <p>休憩 (13:00-14:30)</p>
14:30	セッション3 14:30-17:00
	<p>「原子力技術の多様性と可能性」</p> <p>パネル討論</p> <p>[モデレーター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鷲尾 方一……………早稲田大学 理工学術院・先進理工学研究科 共同原子力専攻 教授 <p>[基調講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナジャト・モクタル……………IAEA 事務次長 (原子力科学・応用局担当) <p>[パネリスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナジャト・モクタル (同上) ●小林 泰彦……………(国研)量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所 放射線生物応用研究部長 ●西尾 禎治……………東京女子医科大学 大学院医学研究科 医学物理学分野 教授
17:00	

2019年4月8日現在
※登壇者および開催内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。



第52回 原産年次大会 2019 ▶ 2019年4月9日(火)・10日(水)

基調テーマ「原子力のポテンシャルを最大限に引き出すには」

4.9 火

*全セッション日英同時通訳

開会セッション 10:00-12:00



■ 原産協会会長所信

今井 敬
(一社) 日本原子力産業協会 会長



■ 来賓挨拶

滝波 宏文
経済産業大臣政務官



■ 特別講演

ナジャト・モクタル
国際原子力機関 (IAEA) 事務次長 (原子力科学・応用局担当)
「原子力科学技術：持続可能な開発目標への貢献」



マイケル・シェレンバーガー
エンパイロメンタル・プロGRESS代表
「原子力、パニック、そして危険性」



本郷 和人
東京大学史料編纂所 教授
「日本の歴史と技術 — 鉄砲を例にして —」

リーダー・パースペクティブ 12:00-12:30



フィリップ・クノル
仏オラノ社 CEO
「フランスの原子力政策と産業界の最新動向」

休憩 (12:30 - 14:00)

第52回 原産年次大会 2019 ▶ 2019年4月9日(火)・10日(水)

基調テーマ「原子力のポテンシャルを最大限に引き出すには」

4.9 火

*全セッション日英同時通訳

セッション1「低炭素電源としての原子力の役割」 14:00-17:00

2018年7月に我が国の第5次エネルギー基本計画が決定されました。原子力は「長期的なエネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源」であり、長期的には「脱炭素化の選択肢」という方向性が打ち出されています。このセッションでは、脱炭素社会とより豊かな社会の実現に向けて、未来を担う低炭素電源である原子力の長期的価値を確認し、再生可能エネルギーと調和し、成長するために何が重要かについて考えます。



■ モデレーター

山地 憲治
(公財) 地球環境産業技術研究機構
理事・研究所長



■ パネリスト

テルマ・クルーグ [基調講演]
気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 副議長
「エネルギーシステムの移行における原子力の役割」



イヴ・デバゼイユ
FORATOM 事務局長
「欧州での今後のエネルギーミックスにおける原子力とその役割」



高村 ゆかり
東京大学未来ビジョン研究センター 教授
「パリ協定後の世界 エネルギーの大転換の中での原子力」



小宮山 涼一
東京大学大学院工学系研究科
原子力国際専攻 兼担 工学部システム創成学科
環境・エネルギーシステムコース 准教授
「エネルギーシステムの低炭素化と原子力」

レセプション 東京国際フォーラム (ホール B5) 17:00-19:00

サイドイベント ●アトラクション (和太鼓演奏 17:00-17:15) ●会員企業・組織による展示会/福島物産展

第52回 原産年次大会 2019 ▶ 2019年4月9日(火)・10日(水)

基調テーマ「原子力のポテンシャルを最大限に引き出すには」

4.10 水

*全セッション日英同時通訳

福島第一原子力発電所の報告 10:00-10:30

■ 講演



小野 明

東京電力ホールディングス(株) 常務執行役
福島第一廃炉推進カンパニー・プレジデント
兼 廃炉・汚染水対策最高責任者
「福島第一原子力発電所の現状と課題」

リーダー・パースペクティブ 10:30-11:00



マッシモ・ガリーバ

欧州委員会(EC) エネルギー総局
原子力・安全・ITER 局長
「EUの低炭素な将来における原子力エネルギーの役割」

セッション2「革新的技術の開発展望」 11:00-13:00

原子力発電が将来にわたって貢献し続けるためには、社会のニーズや環境変化に合わせて、常に技術革新をしていく必要があります。そのため、技術革新に向けた国際的コラボレーションの動きも見られます。このセッションでは、革新的技術の開発に向けた国際連携の動きを共有しつつ、我が国における原子力の革新的技術開発の在り方について示唆を得ます。

■ モデレーター



アンリ・バイレール

OECD/NEA 原子力技術開発・経済部門 副部長
「将来のエネルギー市場における先進型原子炉技術とその役割の展望」

■ パネリスト



マリリン・クレイ

米国原子力学会(ANS) 副会長/次期会長
エクセロン・ジェネレーション社 副社長(戦略・開発担当)
「持続可能な原子力の将来に向けたイノベーション」



ガレス・ヘドック

英国国立原子力研究所(NNL) 科学技術部長
「協力を通じたイノベーション — 英国の展望」



ピョートル・ゼレノフ

ロスアトム JSC サイエンス・イノベーション社
国際コミュニケーション・ビジネス開発部長
「革新的エネルギー技術の開発に向けた国際協力」



松野 大輔

経済産業省 資源エネルギー庁 原子力政策課長
「未定」

休憩 (13:00 - 14:30)

第52回 原産年次大会 2019 ▶ 2019年4月9日(火)・10日(水)

基調テーマ「原子力のポテンシャルを最大限に引き出すには」

4.10 水

*全セッション日英同時通訳

セッション3「原子力技術の多様性と可能性」 14:30-17:00

原子力技術は、発電だけでなく熱利用や放射線を利用した技術が利用されています。原子力発電と放射線利用は車の両輪と表現されますが、後者は、医療、工業、農業等の幅広い分野で多くの国々で役立っています。このセッションでは、原子力の非発電技術の最新の動向や技術開発について共有しつつ、その可能性について探ります。



■ モデレーター

鷺尾 方一

早稲田大学理工学術院・

先進理工学研究科 共同原子力専攻 教授

「日本における放射線の産業利用—その歴史と将来展望—」



■ パネリスト

ナジャト・モクタール [基調講演]

国際原子力機関 (IAEA) 事務次長 (原子力科学・応用局担当)

「原子力技術の潮流：人類の幸福と世界の発展への貢献」



小林 泰彦

(国研) 量子科学技術研究開発機構

高崎量子応用研究所 放射線生物応用研究部長

「農業分野における放射線利用：

変異誘発育種、食品照射、植物検疫処理」



西尾 禎治

東京女子医科大学大学院医学研究科

医学物理学分野 教授

「高精度放射線がん治療技術と医学物理学」